

天狗原山～金山登山

2018.7.18 (水) 快晴 4名で

昨高山植物が豊富な金山に行きましょう」と山友達（オバサン）2人と約束してあった。今年の花年「が早いだろうと7/18以降の天気の良い日にと決めていた。埼玉県のUさんも火打山～焼山と縦走した時に金山～天狗原山経由で下山した事があるが同行したいとの事で4名になった。私も20年位前の秋に、村の山好き達と金山まで日帰りで登った事があるが、最近「花の名山」として良く耳にするようになったので楽しみにしていた。ただコースタイムが8:05と長いので体力的にはキビシイさを予測していた。

5:00 に松川村役場で2名と合流～5:40 白馬サンサンパークで前泊したUさんと合流～6:30 登山口 6:35～7:35 水場 7:50～11:00 天狗原山 (2197m) 11:10～12:10 金山 (2245m、昼食) 12:45～13:30 天狗原山～16:20 水場 16:50～17:35 登山口P 17:45～18:35 サンサンパークでUさんと別れる 18:45～19:35 帰宅。

登山口にはすでに4台駐車していた。支度をしていたらもう1台到着する。



←登山口

ブナなどの樹林帯を水場を目指して登る。涼しくて気持ちの良い登山道だ。水場から先は荒れた歩き憎い登山道になるが、ヤマレコで7/13以前に見た泥んこの道では無くこのところの高温で乾いていて助かった。キヌガサソウの見事な群生が何箇所もあった。シナ

ノナデシコとタカネナデシコが混生する場所があったが何とも言えない色柄だった。以降クルマユリ・クガイソウ・ウツボクサ・シラネアオイ・イワオウ

ギ等花の種類も多くなる。上部はミヤマキンポウゲ・シナノキンバイ・ハクサンコザクラ・ニッコウキスゲ等の群生が続く。特にハクサンコザクラの群生がアチコチに広がっていてその数には驚いた。全国的に見てもトップクラスの規模だと感じた。展望も素晴らしい。

天狗原山頂



北アルプス展望



焼山と火打山



シナノナデシコ



タカネナデシコ



ハクサンコザクラの大群生



ミヤマキンポウゲの群生



キヌガサソウの群生



金山山頂



まじかに大渚山・雨飾山。北アルプス連山、眼下に乙見湖、妙高山～火打山～焼山。特に火打山～焼山～富士見峠～杉野沢橋と縦走した時のコースが眺めて感激した。金山手前には4か所ほど雪渓が残っていたが、軽アイゼン無で歩けた。標高2100m付近でシマヘビに遭遇したが、合戦小屋上や先日は地蔵峠(1732m)でも蛇がいた。猿や鹿・熊等も最近では3000

mクラスの稜線で目撃されるようになったが、これも地球温暖化の影響か？想定外だったのは暑さをあまり感じなかった事、ブナなど大木を含めて樹林帯が多い事と少し風があった事が理由か？下山時も水場から下、登山口まで暑さを感じたが。いずれにしても70代の4名には、かなり疲労感があり、膝・腰に負担をかけたキビシイ山行になったが素晴らしい高山植物に癒された。

赤沼 健治